

ヒト腎臓スライス培養由来 RNA シークエンスデータを用いた創薬、医薬品開発研究

研究目的およびその内容

国立研究開発法人 国立がん研究センターとの共同研究の中で、腎臓スライス培養由来 RNA シークエンスデータ（網羅的な遺伝子発現データ）を取得いたしました。このデータは実際のヒト腎臓組織の理解を深めるうえで重要な情報であるため、本研究では、これら取得済みの RNA シークエンスデータについて解析を行い、開発候補品の有効性評価、毒性評価、動態評価や技術開発などに活用いたします。

研究実施期間

本研究の研究終了時期は決まっています。

研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、国立研究開発法人 国立がん研究センターのバイオバンクについての同意書にて二次利用に同意いただき、手術検体残余組織を提供いただいた研究対象者の腎臓スライス培養由来 RNA シークエンスデータを用いて研究を行います。また、年齢、性別、診断等の背景情報も併せて研究に使用します。

本研究における試料・情報提供の範囲、公開方法

本研究の結果は、国内および海外（スイス、米国、シンガポール）にある中外製薬関係会社の間で共有される可能性があります。また将来、現時点では特定することはできませんが、国内外の共同研究先、外部専門家に提供される可能性があります。さらには、学会、論文、特許、申請資料等で公開されることがありますが、いずれの場合も、個人が特定できないように加工した後、共有・公開・開示します。海外における個人情報保護制度等については個人情報保護委員会のホームページ上で確認できます。<https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku>

研究責任者

中外製薬株式会社 南部 健

文書作成日 2026年3月